



佐藤ひろと

世田谷区議会議員・区議団政調会長 oyakuni@sato-hiroto.com
<http://www.sato-hiroto.com>

ご挨拶

暖かな春の季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
4期目を迎えた今年度は、90万人口を擁する自治体として自らが
地域力を拓く政治が求められています。
その実現のために、私、佐藤ひろとはこれからも生活現場の
最前線で働いてまいります！

動画



facebook



ホームページ



twitter



京都府がん総合相談支援センターと京都動物愛護センターを視察 (平成27年12月21日)

京都府がん総合相談支援センター

がん診療連携拠点病院等における医療相談とは別に医療従事者への不満やセカンドオピニオンの希望など患者の不安や心の問題、経済的な生活に係わることなど、これまで不十分な状況を解消する目的で、平成25年8月に開設。基本的に匿名で電話相談できるハードルの低さが功を奏し、寄り添い型支援の先駆的な取り組みとして、大きな実績へと展開されていきました。



京都動物愛護センター

府市の二重行政の解消と一体的な整備体制による動物愛護管理事業として設立。運営には市のボランティアの方が多く携わっており、さらに市の獣医師会のご協力による夜間(21:30から2:00)動物救急センターも併設。「人と動物が共生できる、うるおいのある豊かな社会」の具体的な取り組みを実施。





世田谷区の平成28年度予算は、わが党が提案した修正案が可決しました!

予算原案に対し、速やかな本庁舎整備に着手するため、再び既存建物調査委託料を減額した減額した「修正案」を提案。賛成多数(議長を除く出席議員47名のうち34名)で修正可決しました。

修正案の概要

総務費に計上された、本庁舎整備に係る既存建物の劣化調査及び耐震性の調査ための経費1008万円は、整備手法が決まっていない現時点では不要。よって当該経費1008万円を減額し、基金に積み立てることに決定。

保坂区長に対し議会軽視の言動を改めることを求める決議を可決!

「区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議」を提案。賛成多数(議長を除く出席議員47名のうち30名)で可決となりました!

実現する!

- **空家等対策の推進となる条例が制定されました。**
これにより、良好な生活環境を守るための、管理されていない建物等の対策が進みます。
- **無認可保育施設利用者への保育料助成が実現しました!**
子育て家庭を支える一環として新たに開始。認証保育所と同様の助成制度を創設しました。
- **小学校通学路へ防犯カメラの設置が実現しました!**
児童・生徒の登下校の安全確保のため、まず20校に設置します。
- **建築物への環境配慮を評価する仕組みの導入が試行実施中!**
大規模建築物の、建設等を行う事業者への環境配慮を積極的に促すための評価制度を目指します。
- **障害児等の保育が実現しました!**
専門研修を受けた保育士が自宅を訪問して保育を行う事業が始まります。

- **「高齢者身近な お休み処」が開設!**
区内32ヶ所の高齢者施設で、散歩の途中で誰でも立ち寄れます。
- **見守りネットワークが全区展開へ!**
地域住民や関係団体が、高齢者を見守る「見守りネットワーク」が全27地区で整いました。



- **「せたがやはいかいSOSネットワーク」が始まります。**
まちで徘徊している認知症の方を発見する地域事業です。
- SOSメール配信と日常生活から「早期発見」する**
- メールSOSネットワーク
- 発見→連絡→保護を行う
- まちなかSOSネットワーク
- 問い合わせ先
03-5429-2206
世田谷区社会福祉協議会

2015年11月25日 第4回定例会・一般質問

- **官民連携での公共サービスの展開について**
PPP(官民連携)若しくはPFI(民間資金調達)などの手法による公共と民間の協働事業をどう展開できるか。公的住宅や地域コミュニティ、コンビニエンスストアとの複合も検討せよ。
- **「道の駅」「まちの駅」構想について**
コンビニ併設、地元特産品の販売、外国人対応となる観光拠点、周遊コミュニティバスの循環、避難施設として防災倉庫、自家発電設備、電気や水素自動車の充電スタンドなど様々な要素を盛り込むことができる。
世田谷の地域特性を生かした機能と配置基準を定め、具体的な検討に着手せよ。

2016年3月9日 予算特別委員会・総括質疑

- **保育待機児対策について**
 - ①新制度導入より1年、認可園を促進する成果を問う。
 - ②小規模保育事業の整備が進まない現状を問う。
 - ③用途転換する区立認定子ども園の新規保育募集枠を3歳児からとする整備に着手せよ。

挑戦する!

- ④認証保育所へ認可園同等の支援策を早急に講じるべき。
- ⑤3歳から5歳児枠の保育定員拡充策として、一部の区立保育園の3歳以上枠へのシフトを検討せよ。

2016年3月10日 予算特別委員会・企画総務委員会所管質疑

- **本庁舎等整備について**
本庁舎については区長の迷走が影響し、いつまで経っても決断できない状況が続いており、一向に整備着手できない。
今後30年以内に70%の確率で発災すると予測されている首都直下型地震に備えるには、自治体の庁舎に備える災害対策機能が減災、復旧、復興に大きな役割を果たすことは間違いなく、全面改築を前提に速やかに進めよ。
- **官民協働による新たな公共サービスについて**
自治体と民間企業との人事交流を再開することを訴え、民間活力やノウハウなどは人事交流による一定期間での共働が最重要。意識啓発こそが新たな公共サービスのあり方へと展開せよ。

今後とも皆様の声を区政に生かせるような質問・提案をして参りますので、ご意見・ご要望をホームページへお寄せ下さい。

公明党世田谷区議団

URL <http://www.komei-setagaya.org/>

〒158-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27

TEL.03-5432-2788~2790 FAX.03-3413-7233

E-mail komei-setagaya@komei-setagaya.org